

2024
May

Vol. 54

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
情報誌

あすたーと

想像の象(日光東照宮)



東照宮にある上神庫の妻側には狩野探幽が下絵を描いたとされる2頭の象が彫刻されています。どことなく不思議な容姿の象ですが、探幽は象を見たことがなく、聞いた話から想像で描いたようです。それ故に、何とも言えない奥ゆかしささえ感じる作品です。観光客には眠り猫や三猿が注目されがちですが、東照宮三彫刻でもあるこの想像の象をじっくり鑑賞してみてもいいのではないでしょうか。

CONTENTS

■ 巻頭言	伝え方	2
■ 会告	第100回 定時社員総会開催について	3
■ 会告	令和6年度 第1回卒後教育講座開催について	4
■ 会告	令和6年度 フレッシュアップセミナーの開催について	5
■ 表彰	吉成亀蔵氏 厚生労働大臣表彰を受賞	6
	「厚生労働大臣表彰を受賞して」	
■ 報告	令和5年度 第3回 卒後教育講座開催報告	7
■ 報告	第6回技師長サミット開催報告	9
■ 報告	令和5年度 第2回 第1地区卒後教育講座開催報告	10
■ 報告	令和5年度 第2回 第2地区卒後教育講座開催報告	12
■ 報告	令和5年度 第2回 第3地区卒後教育講座開催報告	14
■ 報告	令和5年度 第2回 第4地区卒後教育講座開催報告	15
■ 報告	令和5年度 第2回 第5地区卒後教育講座開催報告	16
■ お知らせ	第22回オートプシー・イメージング (Ai) 学会学術大会開催について	17
■ 随想・趣味	激走！モンブラン	19
■ 事務局報告		20
■ INFORMATION		21

伝え方



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会長 吉成 亀蔵

みなさん、カセットデッキは知っていますか？写真は今から30年前の1994年発売のものになります。壊れて動作不良のカセットデッキを購入しました。自分で修理しようと思い、2ヶ月かけて完全に動くようにしました。右の写真のように複雑なギアの噛み合わせで動作します。自宅に残っていたカセットテープを聞くことができます。右の写真はカセットテープと呼ばれ、1982年5月21日発売の松田聖子さんのカセットテープになります。どこか懐かしい音が聞こえてきました。



さて、今回はこんな本を見つけました。ちょっと紹介したいと思います。言い返せない人はこんな人だそうです。

- 反論しない人
- 避難や攻撃を受けた場合、自分の過ちとして受け入れる人
- 素直で率直な性格の人
- 状況を受け入れる傾向のある人

と本には載っていました。また、言い返せないあなたの中に潜む8つの行動心理があると書かれています。そしてこんなことも、イギリスの劇作家・詩人でシェイクスピアの名言「世の中に幸も不幸もなし、すべては考え方によって決まる」という言葉は私たちが日々直面する困難に立ち向かうための力強い支えとなり、事実そのものは1つですが、その解釈は無限に広げられると。自分の考え方一つで変わるのかもしれませんが。

今年の6月29日（土）～30日（日）に2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会が栃木県総合文化センターにて開催されます。10年に一度ですのでぜひ参加をお願いいたします。



栃木県診療放射線技師会ホームページ

<https://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。

第100回 定時社員総会開催について

一般社団法人栃木県診療放射線技師会第 100 回定時社員総会を定款第 14 条に基づき、下記のとおり開催いたします。

記

- **日 時**：令和 6 年 5 月 25 日（土） 16 時 10 分開会（16 時 00 分受付）
- **会 場**：栃木県立がんセンター 本館 3 階 講堂
（栃木県宇都宮市陽南 4-9-13 電話：028-658-5151（代））
- **次 第**：1. 開会
2. 会長挨拶
3. 表彰（35 年・20 年勤続功労表彰）
4. 総会運営委員会報告
5. 議長選出
6. 議事録作成人及び議事録署名人選任
7. 議事
第 1 号議案 令和 5 年度事業報告
第 2 号議案 令和 5 年度会計決算報告
第 3 号議案 令和 5 年度監査報告
第 4 号議案 令和 6 年度事業計画・収支予算書（報告事項）
第 5 号議案 その他
8. 閉会

以 上

* 詳細は、総会資料に同封される案内をご確認ください。

令和6年度 第1回卒後教育講座開催について

記

- 日 時：令和6年5月25日（土） 14時00分開会（13時30分受付）
- 会 場：栃木県立がんセンター（ハイブリッド開催）
（栃木県宇都宮市陽南 4-9-13 電話：028-658-5151（代））

内 容

講演 「STAT 画像所見報告における基礎知識－頭頸部領域－」

講師 国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科

教授 樋口 清孝 先生

アフタヌーンティーセミナー

「マンモグラフィ撮影における AI 技術の活用と

トモシンセシスの実用性」

講師 富士フイルムメディカル株式会社 MS 事業部

東日本 MS センター 今川 裕太 先生

- 参 加 費：会員及び今年度に技師免許を取得した方 無料
非会員 3,000 円

日診放技の学術研修カウントが付与されますので、会員カードをご持参ください。
車でお越しの方は、北側の外来駐車場に駐車してください。なお、料金を無料処理
しますので、駐車券を持参してください。

令和6年度 フレッシューズセミナーの開催について

診療の現場における基礎知識の習得、職場におけるコミュニケーションづくり、県内の診療放射線技師間のネットワークの構築等、役立つ情報を準備して皆様をお待ちしています。

記

- **開催日**：令和6年6月9日（日）
- **場所**：栃木県総合文化センター
- **対象者**：令和5、6年度採用の診療放射線技師
- **内容**：1. エチケット・マナー
2. 医療コミュニケーション
3. 医療安全
4. 感染対策
5. 被ばく低減 他
- **参加費**：無料

【お問い合わせ】

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 事務所

■ TEL/FAX 028-625-7979

■ Email tart@ce.mbn.or.jp

■ 執務時間 月～金 10：00～14：50

吉成亀蔵氏 厚生労働大臣表彰を受賞

令和6年2月20日（火）、イイノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1）にて、令和5年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰の表彰式が行われました。この賞は、多年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著であり、その事業に携わる者の模範となる者を表彰するものです。この度、表彰されたのは公衆衛生事業功労者126名及び6団体で、その荣誉ある賞を本会会長でもある吉成亀蔵氏が受賞されました。

今後も健康に留意され、本会会員のためにご尽力いただきますことをご期待申し上げます。この度は誠にありがとうございます。

厚生労働大臣表彰を受賞して

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 吉 成 亀 蔵



今年の2月に厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。会員の皆様、理事のご協力のもと、受賞できたことと思います。誠にありがとうございます。

思い起こせば技師になり37年が経ちました。こんな長い年月が経っていたことを改めて実感いたします。

理事に就いたのが15年ほど前になります。先輩から引き継いで理事をやらないかと言われ引き受けました。何もわからないまま引き受けてしまい苦労をしたことを覚えております。2013年には学術部長に起用して

いただきました。会員の皆さんに参加していただくには学術に力を入れないといけないと当時の学術部長に言われ、どんな内容を行えば皆さんに会場に来ていただけるか内容を悩んだ記憶があります。現在でも学術だけでなく悩みは尽きませんが。そして2021年の総会にて会長に就任させていただきました。早くも今年度で4年の月日が経ってしまいます。会長として栃木県診療放射線技師会を盛り上げていけるように頑張る所存です。また、会員の皆さんには栃木県診療放射線技師会を活用して、会員の皆さんから意見をいただきたいと思います。

そして6月29日（土）～30日（日）に2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会が開催されます。実行委員一同とともに成功に向けて全力を注ぐ所存です。これからも栃木県診療放射線技師会をよろしくお願いいたします。

令和5年度 第3回 卒後教育講座開催報告

- 開催日時：令和6年3月2日（土） 14時00分～16時00分
- 会場：栃木県総合文化センター 第1会議室 ハイブリッド形式
- 参加人数：50名（現地参加24名、Web参加26名）
- 内容：講演Ⅰ 「DRLs、EI値を用いた線量管理と最適化」

講師：獨協医科大学病院 放射線部 瀬崎 英典 先生

講演Ⅱ 「当院における線量管理と最適化」

講師：獨協医科大学病院 放射線部 福住 徹 先生

アフタヌーンティセミナー 「New!1.5T MRI ECHELON Synergy のご紹介」

講師：富士フイルムヘルスケア株式会社 画像診断営業部 柴田 憲幸 先生

春の気配を感じつつ寒さも残る3月上旬、令和5年度第3回卒後教育講座が栃木県総合文化センターで開催されました。今回は新たな試みとしてハイブリッド形式、アフタヌーンティセミナーを行いました。例年では学術研究発表会と同時開催される卒後教育講座ですが、本年度は6月29、30日に栃木県で開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会準備のため卒後教育講座のみの開催となりました。

講演Ⅰでは獨協医科大学病院放射線部瀬崎英典先生に「DRLs、EI値を用いた線量管理と最適化」についてご講演いただきました。DRLsが必要となった背景、ALARAの原則、ExposureIndex (EI) 値の活用方法、DeviationIndex (DI) の利用方法など基礎から応用まで大変詳しくご講演いただきました。医療における放射線防護の最適化は、医師と放射線技師でしか担えません。医療放射線で社会へ最大限のメリットを提供する。その責任を改めて感じる講演でした。

講演Ⅱでは同じく獨協医科大学病院放射線部の福住徹先生に「当院における線量管理と最適化」についてご講演いただきました。CT検査を中心とした線量管理方法や院内のマネジメント体制、線量管理システムを用いた最適化例などをご講演いただきました。CT検査での最適化の実例の内容は、早速自施設でも確認してできそうだと思う内容で大変参考になりました。

また、講演ⅠとⅡの間にアフタヌーンティセミナーとして富士フイルムヘルスケアの柴田憲幸先生による「New!1.5T MRI ECHELON Synergy のご紹介」についてご講演いただきました。富士フイルムヘルスケア様より茶菓子をいただきながら2023年8月にリリースされたばかりの最新のMRI装置の紹介をしていただきました。トンネル開口径70cm、62cm Wide天板、Wideコイルと一度の撮影で広範囲の撮影を実現でき、AI技術を活用したOneTapPositioningでは撮影準備までの時間が大幅に短縮されるということです。今後の実臨床現場での活躍が楽しみです。

今回は、当会で初めての試みであるハイブリッド形式・アフタヌーンティセミナーを行いました。会員同士が顔を合わせて直接意見交換できる現地参加、自宅や職場から時間の合間に聴講できるWeb参加といった多様性をもった教育講座が行えたのではないかと思います。今後も会員の皆さまへ貢献できる企画を提供していきたいと思います。

最後になりますが、お忙しい業務の中、ご講演いただいた瀬崎英典先生・福住徹先生・柴田憲幸先生に御礼申し上げます。また、参加くださった皆様にも御礼を申し上げますとともに、またのご参加をお待ちしております。

学術部 原 口 尚 徳



司会：木村友昭理事



座長：橘川 宏理事



吉成亀蔵会長



《講演Ⅰ》
獨協医科大学病院 放射線部
瀬崎 英典 先生



《講演Ⅱ》
獨協医科大学病院 放射線部
福住 徹 先生



《アフタヌーンティセミナー》
富士フイルムヘルスケア株式会社
画像診断営業部 柴田 憲幸 先生



第6回 栃木県技師長サミット開催報告

- 開催日時：令和6年1月13日（土） 研修会15：00～ 情報交換会17：00～
- 会場：ホテルニューイタヤ
- 内容：
 - 講演Ⅰ 「サーベイヤー視点による医療被ばく低減施設認定取得までの道」
講師：上尾中央総合病院 放射線科 副科長 佐々木 健 先生
 - 講演Ⅱ 「医療被ばく低減施設認定における評価項目の解釈と対応」
講師：獨協医科大学病院 放射線部 福住 徹 先生
 - 講演Ⅲ 「職場の心理的安全性を高めるためのポジティブコミュニケーション」
講師：ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 取締役 山本 果奈 先生
- 研修会参加者総数 32名（19施設）
- 情報交換会参加者総数 35名（16施設、14社）

令和6年1月13日、第6回栃木県技師長サミットが宇都宮市にありますホテルニューイタヤで開催されました。当日は昼頃より気温が急降下、雪の舞い散る中、多くの施設から管理職の方々が参加してくださいました。

今回は「医療被ばく低減施設認定取得に向けて」と「働きやすい職場環境を目指して」という2テーマで講演をいただきました。

まずは上尾中央総合病院の佐々木先生より、技師の職域を守ることがこれから大変になるかもしれない…技師にしかできないこと、そして「サーベイヤー視点による医療被ばく低減施設認定取得までの道」として認定を取得するにあたっての心構え、何よりその施設の技師全員が必要性をしっかりと理解し、話し合い、協力して認定取得という一つの目標に向かうことが必要だと講演していただきました。

次に獨協医科大学病院放射線部の福住先生から先の講演に続き、被ばく低減施設認定を取得するためにはどう進めたらいいのか、何をしなければいけないのかというところを詳しく説明していただきました。特に認定取得にあたり各施設でここを調べ訪問審査の際に提出できる準備物として資料や記録、マニュアルなど細かく講演していただきました。

次に、ヤマゼンコミュニケーションズの山本先生より

「働きやすい職場環境を目指して」として職場の心理的安全性を高めるためのポジティブコミュニケーションを実践を交えながら講演していただきました。チームとして働いていくうえで一番必要なものは良いコミュニケーションであり、良いコミュニケーションを取ることにより生産性の大幅な向上、報告・連絡・相談の徹底、イノベーションの生まれやすい環境の構築、優秀な人材の流出や退職の抑制、他様々なメリットが生まれてきます。

上司、部下はあっても確かな信頼関係を構築していくことがいかに大切か考えさせられ、少しずつでも実践していこうと思いました。

研修会後の情報交換会では、各施設の現状から個人的な話題まで紹介され、和やかな雰囲気の中で各施設の絆も深まりました。コロナ禍で実に4年ぶりの対面でのコミュニケーション。表情、声、その場の雰囲気はやはりいいものですね。

このように栃木県内の施設代表者が一堂に会する機会は稀ですので、今回参加できなかった施設の方々とも次回は交流を深められればと思います。

文末となりましたが、ご講演をいただきました先生方と参加された多くの施設代表者、賛助会員の方々に感謝いたしまして開催報告とさせていただきます。

企画部 三品 祐樹

令和5年度第2回第1地区 卒後教育講座

- 日 時：令和6年2月29日（木） 18：30～19：30
- 開催方法：Hybrid形式（会場：国際医療福祉大学 F-201、Web：Zoom meeting）
- 内 容：
 - 講演Ⅰ PHILIPS MRI最新情報のご提供
 講師：株式会社フィリップス・ジャパン ダイアグノシス事業部 重見 和紀 先生
 - 講演Ⅱ 施設紹介 ～第1地区における施設紹介～
 II-1：菅間記念病院 鈴木 蘭 会員
 II-2：那須中央病院 石原 邦彦 会員
- 参加人数：54名

令和5年度第2回第1地区卒後教育講座を、会場・WebのHybrid形式で開催いたしました。会場では会員14名、非会員2名、学生3名の参加で、WebからはZoom meetingによるログイン方式のため会員35名、合計54名の参加がありました。

最初のセッションの講演Ⅰでは、株式会社フィリップス・ジャパン プレシジョン ダイアグノシス事業部の重見和紀先生による「フィリップス MRI 最新情報のご提供」のご講演を賜りました。講演内容は1.5Tと3Tの最新機種の紹介で、1.5T MRIのIngenia Ambition 1.5Tでは、従来機種では超電導の冷却に使用する約1,500リットルのヘリウムを、従来使用量のわずか0.5%の約7リットルしか使用しないというヘリウムフリー機種の解説がありました。3T MRIのIngenia Elition 3.0Tでは、使用されているAI技術の特徴が紹介されました。胸部圧迫帯を使用せずモニタリングによる呼吸同期システムの構築、検査ワークフローの効率化やグラジエントの性能向上によりDWIでの撮像時間が約30%短縮され、コントラスト分解能も約70%向上するなどの解説がありました。両機種とも共通の技術であるCompressed SENSEは、高画質化と最大50%の高速化を可能にするそう

です。質疑に関しましては、会員からはAI技術に関する質問が多くあり、新しい技術に対する関心の高さが伺えました。

次のセッションの講演Ⅱでは「第1地区における施設紹介」としまして、栃木県診療放射線技師会学術部統一企画である施設紹介の発表をしていただきました。発表者の菅間記念病院の鈴木蘭会員は、「救急外来を中心に」と題しまして、所属施設での救急対応時の施設の特徴や放射線科の救急体制などを発表していただきました。また、ヘリポートの併設により、登山者の滑落事故や大動脈解離の患者の搬送の話も印象的でした。施設での現在の体制や今後の展望にも触れていました。

那須中央病院の石原邦彦会員は所属施設の新築・改築移転により新しくなった放射線科のレイアウトや特徴を発表されていました。また、移転時に現状の施設とはレイアウトが異なり動線などは向上した点や、移転に関して多くの苦労したことなども述べられていました。2人の発表に対する質問は会場では挙手、Webではチャットによる質疑の形式で行いました。鈴木会員の発表の後の質疑で、菅間記念病院の技師長から本日参加している会員の施設において、当直時の

血栓回収術の体制の質問があり、他施設で血栓回収術が行われているかを確認していました。石原会員の発表後の質問で、移転に関して放射線科で一番苦労したこととして、MRI 室の空調が建築の予定と異なってしまったため、MRI 室内の湿度が高くなりすぎて結露が発生してしまって除湿に苦労していたことが印象的でした。

第2回となる今回の第1地区卒後教育講座も会場・Web から多数の質問・回答を得ることができ、盛況のまま講座を終了することができました。今年度2度

目の会場・Web を利用した Hybrid 形式での卒後教育講座の開催となりましたが、第1地区ではできうる限りこの形式での卒後教育講座を開催したいと考えています。

大変お忙しい中ご講演いただきました先生方、ご参加された会員の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

施設紹介

～救急外来を中心に～

菅間記念病院
医療技術部 放射線科
鈴木 蘭

今後の展望

- ▶ スタッフの技術差を無くす
- ▶ 救急外来との連携
- ▶ 患者到着から治療開始までの時間短縮

19

那須中病院 施設紹介

～新病院建設～

2024.2.29 卒後教育
那須中央病院 放射線科 石原邦彦

新病院建築にあたり大変だったこと

- ▶ 半導体不足により、更新機器の選定を急がなければならなかったこと。
- ▶ 什器の購入量を減らすため現用品什器の一覧化、目面への配置。更新希望のまとめ作業。
- ▶ 世界情勢による資材高騰のため、外壁から床材にいたるところまで変更を強いられたこと。
- ▶ コロナによる職人不足がおり、作業遅延が生じたこと。
- ▶ MRI室の空調設備不良による湿度上昇・結露が生じたこと。
- ▶ 上記の理由で2023年のGWオープン予定が結果として9月まで遅延したこと。

令和5年度 第2回 第2地区 卒後教育講座

- 日 時：令和6年3月21日（木） 18：00～19：00
- 開催方法：Web開催（Microsoft Teams 会議）
- 内 容：施設紹介と取り組み ～どんなことに力を入れているの？～
- 参加人数：45名（会員参加45名）
- 発表施設・演者

● 第2地区紹介	木村 友昭 理事
● 今市病院	原 享弘 会員
● 上都賀総合病院	山上 直也 会員
● 獨協医科大学日光医療センター	益子 大世 会員
● 獨協医科大学病院 全体紹介	加藤 清貴 会員
一般・MRエリア	河本 晶子 会員
	園部 豊 会員
CT・造影・血管エリア	村岡 祐基 会員
RI・PET・治療エリア	新井 和浩 会員
	儘田 智仁 会員

今回は、第2地区所属の施設紹介と各施設が力を入れていることを中心に発表していただきました。また、昨年度と同様に各地区の卒後教育講座はオンラインでの開催となっております。

■内容詳細

第2地区紹介

木村 友昭 理事

令和5年度より各地区統一テーマでの卒後教育講座を行っている。背景には原則 Web での開催になったことに伴い地区を越えての参加が容易になったことがあげられる。また、テーマを統一することにより各施設間での良いところを自施設に取り入れたり、情報共有が促進できると考えられる。

第2地区の紹介では、日光市、鹿沼市、壬生町、野木町と栃木市の旧西方町が地域となっており、地域内の14施設（自宅会員含む）が所属しており、所属会員数は99名（栃木県全体で528名）となっている。これは栃木県会員数の19%が所属していることとなる。

今市病院

原 享弘 会員

今市病院の立地状況と2027年6月に創立100周年を迎える旨が紹介された。次に所属の放射線技師数、各装置の稼働状況の報告があった。

現状で力を入れている項目については、地域のクリニックからの紹介患者を多く受け入れを行い、地域のクリニックとの病診連携に力を入れているとのことであった。

上都賀総合病院

山上 直也 会員

演者より施設沿革や概要の説明があり、次いで放射線科の概要と機器の解説があった。また、令和5年10月よりAI技術を用いた胸部画像診断支援ソフト（エルピクセル社 EIRL Chest Screening）が導入されており、ソフトの概要が紹介された。あくまでも診断の支援とのことであり、確定診断を行う上での参考データとの位置づけであるとのことである。発表後の質疑で使用感や運用実績等の質問があったが、導入後あまり時間が経過しておらずサンプル数も少なく現状ではまだ実績等の解析ができていないとの回答であった。

獨協医科大学日光医療センター

益子 大世 会員

令和5年1月に新築移転した新しい施設である。新しい施設の概要や旧施設との検査機器の違い、所属の放射線技師数、各装置の稼働状況の報告があった。病院移転のための準備作業の細かい紹介があり、各装置の設定作業、新しい装置の操作トレーニングな

どの作業を旧病院の業務と並行して行っていたことなどが紹介された。

獨協医科大学病院

全体紹介	加藤 清貴 会員
一般・MRエリア	河本 晶子 会員
	園部 豊 会員
CT・造影・血管エリア	村岡 祐基 会員
RI・PET・治療エリア	新井 和浩 会員
	儘田 智仁 会員

獨協医科大学病院は施設が大きいので、全体の紹介と各部門から報告をいただいた。

《全体紹介》

病院の位置・沿革・概要の紹介があった。

2023年に創立50周年を迎えた。特定機能病院として地域の中核を担う病院である。また、栃木県のドクターヘリの運用拠点となっており県全域の3次救急の一翼を担っている。

《一般・MRエリア》

一般撮影において、全脊椎撮影の件数が多く年間で約3,000件の撮影を行っている。手術室でも全脊椎の撮影を行っており、SID140cmと固定して、プレートだけを移動して2回ばく射で撮影を行いソフトで合成を行っているとのことであった。また、研究活動も活発に行われており、昨年度は研究発表15回、執筆活動3件であったと報告された。

MRI撮影においては、小児の固定具の紹介、閉所恐怖症患者への対応、ペースメーカー患者の対応方法、休日・当直帯での対応方法についての紹介があった。

《CT・造影・血管エリア》

CT・造影の検査については、予定の検査よりも緊急の検査が多く、業務が円滑に行えるように検査の振り分け担当の技師を設けるなどの工夫をされていた。このエリアではRadimetricsを用いた被ばく線量管理と医療従事者の被ばく低減の取り組みが行われており、内容の詳細が報告されていた。透視検査において新たにRADPADを導入したことにより、検査中の散乱線による術者の被ばくを軽減することができたと報告があった。

《RI・PET・治療エリア》

核医学検査エリアにおいて2022年12月より県内初のルタテラ治療を行っていることが紹介された。またSPECT/CTも導入されており、SPECTで体内の機

能像を撮像し、CTで体内の構造像を撮像し、画像の融合を行うことによりより詳しく病気の状況を調べることが可能となった。

放射線治療部門においては、リニアックが2台稼働しており年間600～700件（内高精度照射が30～40%）とのことであった。他にもRALS、ガンマナイフ等も稼働しておりより専門的な治療が可能である。品質管理ワーキンググループと症例検討会を週に2回開催しており品質の管理にも力を入れていると紹介があった。

■後記

今回は、理事による地区概要の説明から始まり、各施設紹介などで演者総勢10名による発表であった。内容が多かったこともあり発表だけで予定時間ギリギリになってしまい質疑にあまり時間を取れなかったことが反省点である。しかしながら、発表内容はとても充実しており有意義な時間であった。今後も施設間の情報共有などを目的として教育講座を開催できればと思う。



施設名	会員数
1 足尾双葉病院	1
2 明倫会 今市病院	4
3 おもと乳腺外科クリニック	1
4 鹿沼脳神経外科	1
5 上野賀総合病院	12
6 厚友会 城西病院	1
7 獨協医科大学日光医療センター	10
8 獨協医科大学病院	54
9 西方病院	5
10 日光市民病院	2
11 明倫会 日光野口病院	2
12 友志会 野木病院	3
13 整形外科メディカルバス	1
14 自宅	2
合計	99

第2地区
施設
会員数

99/528名
19%

令和5年度 第2回 第3地区 卒後教育講座

- 日 時：令和6年3月8日（金） 18：00～19：00
- 開催方法：Web開催（Microsoft Teams）
- 内 容：各施設の教育方法 ～新人またはスタッフ配置換えに伴う教育～
- 参加人数：92名

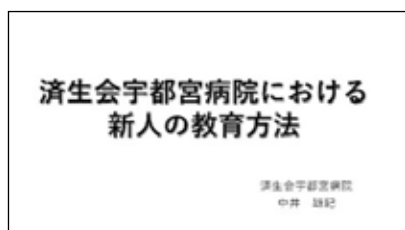
令和6年3月8日に第2回第3地区卒後教育講座を開催しました。前回は多数の参加をいただき Web 形式で完結できたこと、また新型コロナウイルスを取り巻く環境が医療現場においては油断を許さない状況であるため、今回も Web 形式の開催となりました。参加人数は92名となり、第3地区としては過去最多の参加人数を更新できました。

今回のテーマは「各施設の教育方法～新人またはスタッフ配置換えに伴う教育～」ということで、第3地区4施設の代表の会員の方に発表いただきました。宇都宮記念病院、済生会宇都宮病院、芳賀赤十字病院の3施設には主に新人教育についての紹介、栃木県立がんセンターには施設内での教育全般の紹介をしていただきました。各施設での教育に関する方法を紹介いただくのは新鮮味もあり、またどのようなマニュアルを整備しているのか他施設を知ること各施設に還元できる部分もあったのではないかと思います。年度

末ということもあり、来年度に新人が入る施設にとってタイムリーに生かせる内容であり、今回の教育講座のタイミングには合致した内容を提供できたと思います。多数の質疑応答がありましたが各発表者にはわかりやすく回答いただき、しっかりとした準備がなされていたと感じました。

前回はリハーサルでスライドショーがうまくいかず、テキストが表示されない等のトラブルに関して情報を得ていたため、今回は事前にトラブルに向き合い、各発表者が困惑しないよう画面共有の方法等の試行錯誤を重ねた結果、順調に進行をすることができました。理事間でトラブル等を共有していたことで前回の反省点を生かして今回の講座を開催できたと思います。

今回の講座も多くの方々に参加いただき盛会のうちに終了することができました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。また、開催にあたりサポートいただいた理事の方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



第3地区理事 飯 野 誠
(担当：芳賀赤十字病院 菊 池 将 司)

令和5年度 第2回 第4地区 卒後教育講座

- 日 時：令和6年1月25日（木） 18：30～19：30
- 開催方法：Web開催（Microsoft Teams）
- 内 容：施設紹介 ～各施設の取り組み～（3施設）
- 参加人数：72名

令和5年度第2回第4地区卒後教育講座がWeb形式にて開催されました。今回は72名の参加があり、第4地区以外からも多くの方にご参加いただきました。

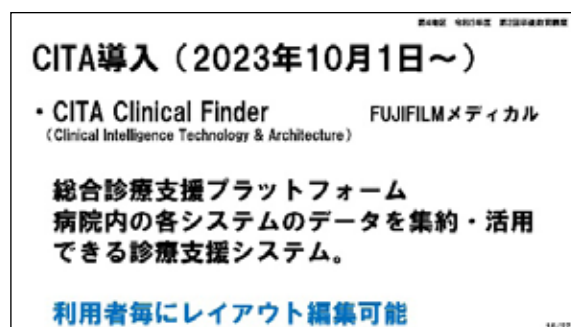
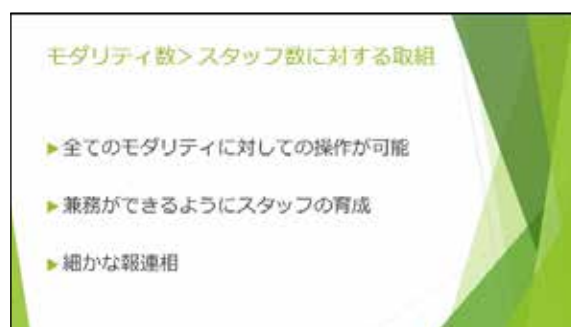
今回は「施設紹介 ～各施設の取り組み～」をテーマとして、佐野市民病院・佐野厚生総合病院・足利赤十字病院の3施設に発表していただきました。

初めに施設紹介として各施設の規模や標榜科、放射線科スタッフ数、新人教育、当直体制などについて詳しくお話しいただきました。

次に各施設の取り組みとして、佐野市民病院からモダリティ数に対してスタッフ数が少ない場合の工夫、佐野厚生総合病院からCITA導入に関して、足利赤十字病院からサイバーナイフの導入、治療実績に関して話していただきました。

今回は各施設のスタッフ数や新人教育、様々な取り組みを知り、今後の放射線業務に役立てていきたいと思えます。

お忙しい業務の中発表していただいた各施設の代表の方々に御礼申し上げます。また、参加された皆様、誠にありがとうございました。



令和5年度 第2回 第5地区 卒後教育講座

- 日 時：令和6年3月13日（水） 18：00～19：00
- 開催方法：Web開催
- 内 容：
 - 演題Ⅰ** 「Photon-counting CT NAEOTOM Alpha のクリニカルインパクト」
講師：シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 中島 彩 先生
 - 演題Ⅱ** 第5地区施設紹介
 小金井中央病院 川村 新 会員
 とちぎメディカルセンターとちのき 森池 遼 会員
- 参加人数：38名

令和6年3月13日（水）18：00より令和5年度第2回第5地区卒後教育講座がWeb形式で開催された。

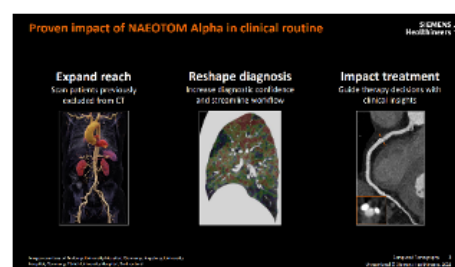
演題Ⅰでは「Photon-counting CT NAEOTOM Alpha のクリニカルインパクト」と題してシーメンスヘルスケア株式会社CT事業部の中島彩先生にご講演いただいた。

Photon-counting CTの特徴（高分解能、低線量、高コントラスト、スペクトル解析）とその特徴を生かした技術について学んだ。特に冠動脈ステント内再狭窄の診断能向上や脳脊髄液動静脈瘻の描出能向上はその後の治療に大きく影響すると感じた。また、Dual Source CTの特徴についても学んだ。

演題Ⅱでは「第5地区施設紹介」として小金井中央病院と、とちぎメディカルセンターとちのきがそれぞれの施設での取り組みについて発表した。小金井中央病院では病院機能評価受審のための取り組みについての話があった。中でも読影結果の既読管理の取り組みは大変参考となった。

とちぎメディカルセンターとちのきでは大腸内視鏡検査の介助や胃透視、マンモグラフィ検討会を行っていること、地域包括ケアシステム、緩和ケア病棟についての話があった。同じ第5地区内の施設であっても、まだ知らない施設が多くあるが、今回の講演でその一部を知ることができ大変参考となった。施設紹介と取

り組みについての発表を重ねることで、情報の共有化ができればよいと感じた。



第5地区理事 木村和弘

第22回 オートプシー・イメージング(Ai)学会 学術大会開催について

この度、オートプシー・イメージング学会が主催する「第22回オートプシー・イメージング(Ai)学会学術大会」がライトキューブ宇都宮で開催されます。県内で開催される全国規模の学会で、本会も後援するイベントになります。当日は一般演題のほか、作家で医師でもある海堂尊先生による市民公開講演(サイン会も開催)も催され、大会後には情報交換会も予定されております。

死亡時画像診断に関わる多くの方々と交流できるチャンスですので、栃木 Ai 研究会からも皆様のご参加をぜひともお願い申し上げます。

- 大会名：第22回 オートプシー・イメージング(Ai)学会 学術大会
- 大会テーマ：不易流行 Immutable epidemic ～時代の変化に応じた死因究明を目指して～
- 会 期：2024年8月17日(土) 10:00～16:30 予定
- 会 場：ライトキューブ宇都宮 中ホール(〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20)
- 開催形式：会場型開催のみ
- 主 催：オートプシー・イメージング学会
- 大会長：樋口 清孝(国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 教授)
- 参加費：会 員(事前登録) ￥3,000(当日参加は ￥4,000)
非会員(事前登録) ￥4,000(当日参加は ￥5,000)
学 生(事前登録/当日) ￥1,000
- 後 援：一般社団法人 栃木県医師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会

第22回 オートプシー・イメージング(Ai)学会 学術大会

不易流行

Immutable epidemic

～時代の変化に応じた死因究明を目指して～

市民公開講演

「Ai 四半世紀」

作家・医師 海堂 尊 先生



開催日時

2024年 8月17日(土)

10:00～16:30 (予定)

開催会場

ライトキューブ宇都宮 中ホール
(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)

大会長

樋口 清孝 (国際医療福祉大学)

後援

栃木県医師会、栃木県診療放射線技師会

詳しくはココから



Ai学会ホームページ



山岳地帯や静かな森、林道など不整地を駆け抜ける競技、トレイルランニングが人気です。

昨年9月、ヨーロッパ最高峰モンブランを46時間以内にぐるっと一周するレース『UTMB/ウルトラトレイル・デュ・モンブラン』に参加しました。コースは距離171㎞、標高2,000m級の山や峠を越えること7回、累積の登りの合計は10,000mにもなります。第1回冬季オリンピック開催の地、フランス・シャモニーの街をスタートし、雄大なヨーロッパアルプスの峰々を片目に、イタリア・スイスの山々を駆け抜け再びシャモニーへと戻ってくる、『世界で最も過酷で最も美しいレース』といわれています。コース中には関門を兼ねた休憩所（エイドステーション）があり、フルーツやパスタ、チョコレートなど補給を取ることができ、中には仮眠もとれるエイドもあります。



レース3日前に現地に到着し最終区間の試走や事前の必携装備チェック、街なかの観光をしたりと、アルプスリゾートを満喫して過ごしました。到着前日まで雪が降っており、最低

気温は氷点下、2,000mから上は積雪といった状況で、レースは相当厳しいことになると覚悟していました。しかし天候は急速に回復し、レース当日は日中30℃近い気温となりました。暑い状況は大好きなので、これで何が何でも完走するぞと、強いモチベーションを持つことができました。

午後6時、大歓声の中2,400人のランナーが一斉にスタートしました。最初の夜、イタリアとの国境の峠では残った雪で体感温度は氷点下でした。ただ、月光に照らされ銀色に輝いた尾根が遙か彼方まで見渡せる様子がとても幻想的でした。レースは2晩目ともなると眠さと疲労で時折幻覚が見えます。自分の場合は道端の石ころが全て人の顔に見えたり、あるはずのないエイドが見えたりします。慣れると案外面白い体験です（笑）。レースも24時間を超えると、全身の疲労と痛みで歩き主体になってきます。



3日目の朝、最後の峠を登るとゴールのシャモニーの街が見えます。脚の痛みには堪え街へと駆け降りると、見知らぬ人々のbravo!!の声が飛び交い、選手を祝福してくれま

す。そのエールで疲労と痛みが嘘のように消えてしまいます。喜びをかみ締め、2晩ずっと応援してくれた妻と一緒にフィニッシュゲートをくぐり41時間43分の旅を終えたのでした。

佐野厚生総合病院 放射線科 和田 倫 行

会の動静

- 1/ 5 会誌115号発行
 1/13 第6回技師長サミット（ホテルニューイタヤ）
 第6回理事会（ホテルニューイタヤ）
 1/18 栃木県医師会・栃木県医師連盟新年懇親パーティー
 〈吉成会長〉
 1/25 第2回第4地区卒後教育講座（Web開催）
 2/10 第19回学術研究発表会抄録集発行
 2/15 第5回業務執行理事会
 （栃木県庁舎西別館共用会議室）
 2/29 第2回第1地区卒後教育講座
 （国際医療福祉大学・ハイブリッド開催）
 3/ 2 第3回卒後教育講座（栃木県総合文化センター第一
 会議室・ハイブリッド開催）
 第7回理事会（栃木県庁舎西別館共用会議室）
 3/ 8 第2回第3地区卒後教育講座（Web開催）
 3/11 国際医療福祉大学学位記授与式〈吉成会長〉
 国際医療福祉大学学位記伝達式〈吉成会長〉
 3/13 第2回第5地区卒後教育講座（Web開催）
 3/21 第2回第2地区卒後教育講座（Web開催）
 3/31 会員数 512名
 4/ 4 国際医療福祉大学入学式（樋口理事）
 4/ 6 第1回業務執行理事会・監査会
 （栃木県庁舎西別館共用会議室）

会員の動静

令和6年4月8日現在（敬称略）

■ 会員総数 512名

第1地区	89名	第2地区	96名
第3地区	164名	第4地区	64名
第5地区	96名	県外	3名

■ 入 会

高橋裕之介	とちぎメディカルセンターしもつが
林 輝笑	とちぎメディカルセンターしもつが
田中 樹	済生会宇都宮病院
上垣 俊祐	栃木医療センター
袖山 文也	芳賀赤十字病院
山口宗一郎	鷲谷記念病院
遠山 陽人	済生会宇都宮病院
岩瀬 颯人	新小山市市民病院
奥田 章広	鷲谷記念病院
武田 和葉	宇都宮東病院
本望 智哉	那須中央病院
木村 悠人	佐野厚生総合病院
大嶋 千翔	佐野厚生総合病院
田村 正信	長島医院

舘野 裕介 芳賀赤十字病院
 早藤 佑 自治医科大学附属病院

■ 転 入

星 一平 伊勢崎検診プラザ 神奈川県より
 佐藤 和憲 菅間記念病院 埼玉県より
 細島 耕史 茨城県より
 長谷川彩香 株式会社ドクターネット 群馬県より

■ 退 会

江口 里菜	和知 真奈	山下 明
近藤 綾香	森山 基吉	石川 剛
菊池 菜摘	春名 克義	簾谷 和男
井上 有梨	長谷川智美	佐藤 晴美
矢島有里恵	飯島 涉	塙 拳吾
ト部 優花	糸井 亮	常盤 礼香
三上 倫佳	田仲 輝樹	郷間 琢也
菊地 彩果	君嶋 賢一	

会員資格喪失者（除籍）3名

■ 転 出

阿部 遥 北海道へ
 須藤 隼佑 東京都へ
 高橋 朋暉 千葉県へ
 久田 友頼 千葉県へ
 今野 智司 静岡県へ

■ 異 動

森池 遼 とちぎメディカルセンターしもつが
 → とちぎメディカルセンターとちのき
 早乙女倫弘 とちぎメディカルセンターとちのき
 → とちぎメディカルセンターしもつが
 高田 英明 とちぎメディカルセンターしもつが
 → とちぎメディカルセンターとちのき
 天谷 禎 とちぎメディカルセンターしもつが
 → とちぎメディカルセンターとちのき
 石塚 大輔 獨協医科大学日光医療センター
 → 獨協医科大学病院
 亀田 卓世 獨協医科大学病院
 → 獨協医科大学日光医療センター
 江連 真一 川上病院
 → 高橋消化器内科糖尿病内科

■ お悔やみ申し上げます

令和5年10月19日 ご母堂様 大木 敦史
 （那須赤十字病院）
 令和5年12月15日 ご尊父様 松枝 勝浩
 （自治医科大学附属病院）

令和6年度 活動予定表

令和6年

- 4/ 6(土) 監査会並びに第1回業務執行理事会
 4/11(木)～14(日) 第80回日本放射線技術学会総会学術大会 (パシフィコ横浜・Web : 4/15～5/16)
 4/18(木) 第1回理事会
 5/ 7(火) あすたーとVol.54発行
 5/25(土) 第100回定時社員総会
 第1回卒後教育講座
 6/ 8(土) JART第87回定時総会
 6/ 9(日) フレッシュヤーズセミナー
 6/13(木) 第2回業務執行理事会
 6/29(土)～30(日) 関東甲信越診療放射線技師学術大会 (栃木県総合文化センター)
 7/14(日) 全国会長会議
 7/21(日) 第11回告示研修
 7/25(木) 第2回理事会
 8/21(火) あすたーとVol.55発行
 8/25(日) 第12回告示研修
 9/29(日) 第13回告示研修
 9/30(月) 会費納入期限
 10/10(木) 第3回業務執行理事会
 10/20(日) 第14回告示研修
 10/31(木)～11/3(日) 第1回日本放射線医療技術学術大会 (沖縄コンベンションセンター)
 11/ 9(土) 第2回卒後教育講座
 第3回理事会
 11/17(日) 第15回告示研修
 12/12(木) 第4回業務執行理事会

令和7年

- 1/10(金) 会誌116号発行
 1/11(土) 第4回理事会
 2/13(木) 第5回業務執行理事会
 3/ 2(日) 第19回学術大会
 第3回卒後教育講座
 第5回理事会

ご案内

2024年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会

- 期 間：2024年6月29日(土)～6月30日(日)
 会 場：栃木県総合文化センター (栃木県宇都宮市本町1-8)
 実 施：一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
 参加登録：大会ホームページより事前登録受付中 (当日の参加登録も登録サイトから)
 事前登録 3,000円 (会員) / 5,000円 (非会員)
 1,000円 (学生)
 当日登録 5,000円 (会員) / 7,000円 (非会員)
 1,000円 (学生)
 情報交換会：宇都宮東武ホテルグランデ
 (栃木県宇都宮市本町5-12)
 事前登録 8,000円 (会員) / 10,000円 (非会員)
 8,000円 (学生)
 当日登録 10,000円 (会員) / 12,000円 (非会員)
 10,000円 (学生)
 *詳細は大会ホームページをご参照ください。

ご案内

第1回 日本放射線医療技術学術大会 (第40回 日本診療放射線技師学術大会・ 第52回 日本放射線技術学会秋季学術大会)

- 期 間：2024年10月31日(木)～11月3日(日)
 会 場：沖縄コンベンションセンター
 (沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)
 大会長：公益社団法人 日本診療放射線技師会
 会長 上田 克彦
 公益社団法人 日本放射線技術学会
 前代表理事 白石 順二
 参加登録：
 会 員 15,000円 (不課税) *事前参加登録による割引なし
 非会員 30,000円 (税込み)
 学生会員 2,000円 (不課税) (学生証提示)
 学生非会員 3,000円 (税込み) (学生証提示)
 *詳細はJART 4月号またはホームページをご参照ください。

ご案内

第76回 診療放射線技師国家試験 結果発表

- ◆ 受験者数：3,565人 ◆ 合格者数：2,834人
 ◆ 合格率：79.5%

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2024
May

Vol. 54

編集・発行

発行人 吉成 亀蔵

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
 〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目3番10号
 栃木県庁舎西別館404号

TEL・FAX 028-625-7979

銀行振込：足利銀行本店 (普通) 1785921

郵便振替：00340-3-35730

URL <http://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp

2024 年度

関東甲信越 診療放射線技師学術大会

一期一会

～人から人へ伝える技・心～

校 学

足利学校（栃木県足利市）

〔会期〕 2024年6月29日 土・30日 日

〔会場〕 栃木県総合文化センター

【主催】 公益社団法人 日本診療放射線技師会
一般社団法人 長野県診療放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会
一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

【実施】 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会

【大会長】 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会 会長 吉成 亀蔵

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
一般社団法人 千葉県診療放射線技師会